

敷石に
影投げ入れる
七変化

庭野 古久



「四季の寺」
実梅ころころ
隙間なし

渡辺 節子



歯ざわり
柔ざわり塩あじ
桜餅

小林 庸一



青梅や
はち切れそうな
肌の艶

反町 修



螢火の
静かに舞ひし
神の池

山崎 實



シヨベルカー
置きざれしまま
残暑なほ

清水 桂子



キーンときて

しばし沈黙

かき氷

山口 信雄



梅漬ける

妻の手捌き

匠なり

青藤 正浩



遠き日を

灯すがごとき

懐かな

原澤 松乃



333.com

病む妹へ

文に忍ばす

金木犀

原八重子



かき氷

待つ子供等の

恵比須顔

岩澤 守晃



海の家

濡れるしままに

かき氷

加畑 恵子



10

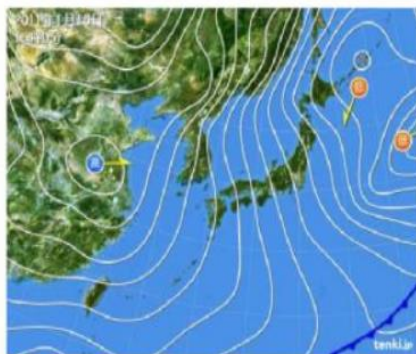
年の瀬を
乗せて流るる
川の音

原澤 松乃



列島を
縦横にして
寒波来る

山口 信雄



またしても
血割る夫の
冬銀河

渡辺 節子



面会の都度
義父に似て

清水 桂子



冬日和



病む妻の
良性信じ

香藤 正浩

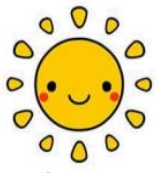
初祈願



人々の
無数の願ひ
酒の市

小松原 和明





岩澤 守晃

太陽を
師と仰ぎ咲く
福寿草



大寒の
百畳墨香
写経かな
原 八重子



深く吸ふ

神木の香
初詣

庭野 久



細雪幸を

願ひて
ささやけり

小林 庸一



大寒や
患者溢るる
クリニック
反町 修



古みくじ

きつちり結び

初詣

加畑 恵子



日向ぼこ
木洩れ日の下
大の字に

渡辺 節子



民話聴く
落人村の
囲炉裏端

山崎 實



大の字を
孫も真似てる
奥座敷

小松原 和明



生と死を

行き交ふ声か

虎落笛

加畑 恵子



立ち話
さらって行くや
虎落笛

原澤 松乃



障子貼り
夫婦の心
通いけり

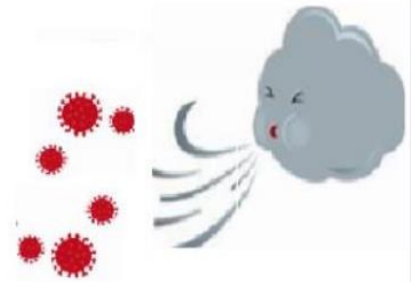
小林 庸一



虎落笛

憎きコロナ禍
吹き飛ばせ

山崎 實



日本海

波音を消す
虎落笛

岩澤 守晃



永平寺

板碑揺するや
虎落笛

香藤 正浩



時雨るるや

畠へ行かぬ
解放感

小松原 和明



時雨来て

相合傘の
ぎこちなさ

清水 桂子



駆け込みて

時雨去る間の
縄のれん

原 八重子



春昼や

早くも布団

たたたく音

小松原 和明



春風や

合格祈願の

絵馬笑ふ

山崎 實



初時雨
しばし仁王の
客となり

山口 信雄



親が撮る

愛と優しさ

春兆す

渡辺 節子



春兆す

鳥語に目覚む

今朝の窓

原 八重子



シクラメン
去年の鉢も
花いっぱい

小林 庸一



子どもらの

声あるところ

春きざす

岩澤 守晃



春兆す

鍬を洗ふ手

のびのびと

香藤 正浩

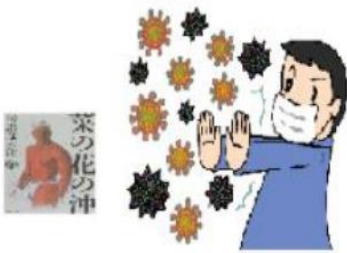


コロナ禍に

足るを知りたり

菜の花忌

山口 信雄



半世紀

つづける妻の

雛飾り

香藤 正浩



緑梅の

枝垂れみごとや

たたずみぬ

小林 庸一



カーテンの

揺れて妖精

春兆す

清水 桂子



青き日の

カルピスの味
今臈

清水 桂子



瀬戸内の

青き島並み
おぼろかな

山崎 實



白梅の

黙を破りに
目白かな

小松原 和明



ビル臈

広き都会の
墓石かな

岩澤 守晃



なにもかも
おぼろおぼろの
八十路かな

山口 信雄



朝光に

羽根震はせて
初音かな

原 八重子



大寒の
月の黙して
仁王門

加畑 恵子



大寒の
感じぬ今朝の
光の輪

岩澤 守晃



空つぼの
解らぬ夫の
朧の夜

渡辺 節子



初場所の
優勝力士
郷沸けり

原 八重子



めでたきも
雑煮の餅の
ふたつ程

小松原 和明



初夢や
女子先生
現はれり

小林 庸一



くる年の
かけ替え楽し

初暦

渡辺 節子



ままごとの
やうな独りの
春御膳

清水 桂子



節分や
八十路の願ひ
あと十粒

青藤 正浩

後十粒



初々し
乙女のえくぼ

山笑う

清水 桂子



初釜の
濃茶の点前
緊張す

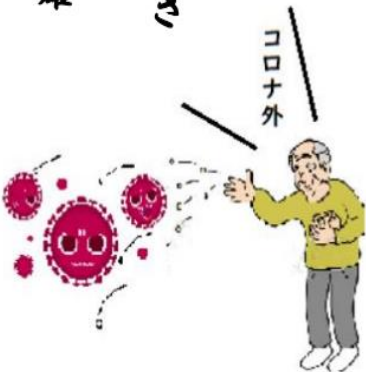
山崎 實



「コロナ外」
爺は真顔で
豆を撒き

山口 信雄

コロナ外



秩父嶺に
ゴルフエンジョイ

山笑う

斎藤 正浩



春の風
蹴とばしている

段ボール

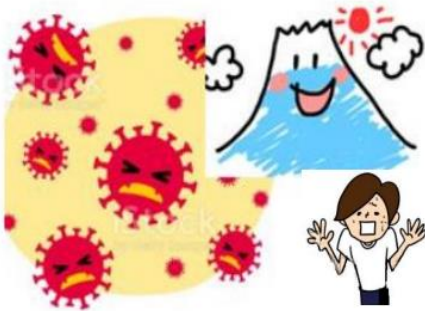
小松原 和明



コロナ禍の
人の動揺

山笑う

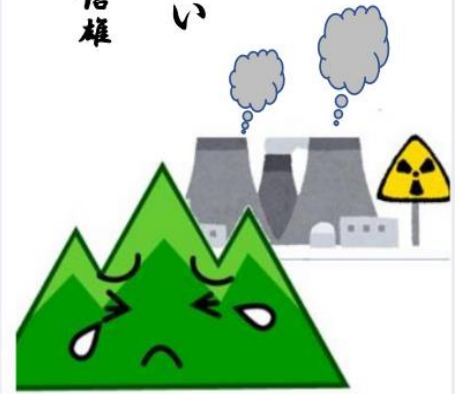
小林 庸一



フクシマの
山も笑へど

泣き笑い

山口 信雄



登頂や

万歳三唱

山笑う

原 八重子



溪深き

ゴンドラ揺れて

山笑う

山崎 實

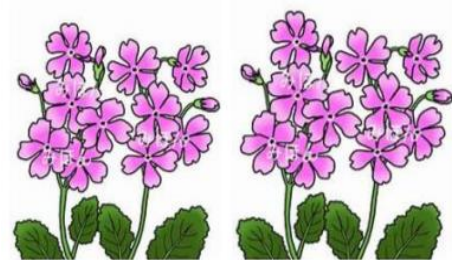


桜草

憂きこと忘る

可憐さよ

原 八重子



老後とは

介護のことか

山笑う

渡辺 節子



喪に服し

終へて青空

山笑う

岩澤 守晃



さわさわと

窓に風呼び

桜草

山口 信雄



店先に

鉢鮮やかに

桜草

清水 桂子



可憐なる

顔美しきかな

桜草

岩澤 守晃



咲き満ちて

蕾つぎつぎ

桜草

渡辺 節子

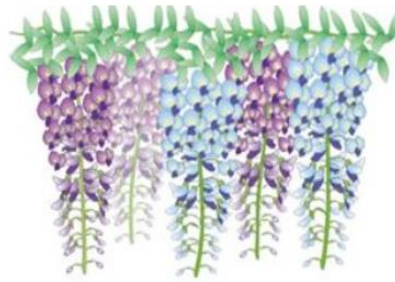


藤の房

数多の花の

数知れず

小松原 和明



初恋は

高校二年

桜草

山崎 實

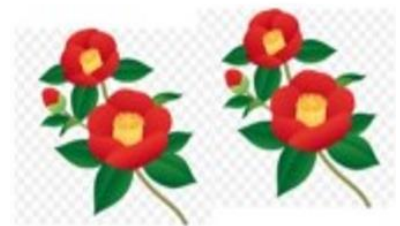


落椿

触るる刹那に

解けけり

清水 桂子



東京は

緊急事態

癸寸春

山崎 實



たらの芽の

にがみ味はふ

今宵かな

青藤 正浩



啄木忌

学びの窓に

響く詩

岩澤 守晃



朽ちし庭

藤の一房

濃かりけり

原 八重子



陽で咲く

タンポポけふも

上機嫌

小松原 和明



啄木忌

妻の名節子

我節子

渡辺 節子



啄木忌

我泣きぬれて

夢を見し

小林 庸一



居酒屋に

独り酌む酒

啄木忌

山口 信雄



孫帰り

風鈴小さく

鳴りにけり

小松原 和明



チリーン



五月女の

姿懐かし

小さき旅

岩澤 守晃



四畳半

寮の寝起きや

啄木忌

青藤 正浩

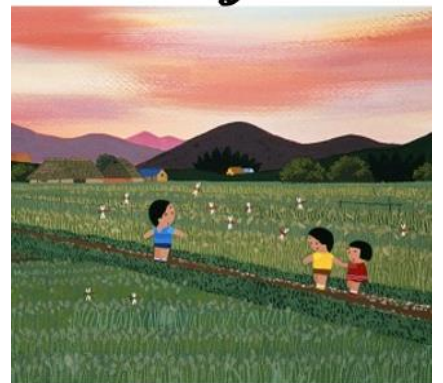


水音に

潤む見沼田

夏に入る

山口 信雄



山頂で

学生寝転ぶ

立夏かな

小林 庸一



マスク越し

若葉青葉

満喫す

清水 桂子



1199 x 843 . jpg
blogspot.com

夏に入る

サラダサラダの

朝餉かな

斎藤 正浩



新しき師匠

迎へて

立夏句座

山崎 實



田んぼへと

水送る

立夏かな

原 八重子



いきいきと

色を染め出す

五月雨

渡辺 節子



五月雨や

借景を説く

墨衣

清水 桂子



いまのいま

菖蒲垂直

夏立ちぬ

渡辺 節子



五月雨や

草茫茫の

休耕田

山口 信雄



竹林の

祠に猫や

さみだるる

原 八重子



五月雨や

静かな街に

傘一つ

岩澤 守星



風薫る

ワクチン予約

上手く済む

山崎 實



予約済み

初採りの

苺先祖へ

献上す

斎藤 正浩



庭陽に

蚯蚓の果てし

早梅雨

小松原 和明



父の日を

誰も気づかぬ

儘に過ぐ

小松原 和明



こころの中

変へてみたしや

更衣

原澤 松乃



白壁の

影を揺らせし

青葉風

山崎 實



山百合の

藪の祠を

灯すかに

山口 信雄



姫百合を

活け黙禱す

慰霊の日

清水 恵子



父の日や

吾ねんごろに

そばを打つ

斎藤 正浩



築山の

百合咲き満ちて

夫婦椅子

渡辺 節子



山百合の花
数両手では足りぬ

岩澤 守晃



夕管の

黄に染む山の
日暮れかな

原 八重子



ミニトマト

初取りまづは

仏様

岩澤 守晃



卒寿の師

反骨萎えど

凌霄花

清水 桂子



遠雷に

娘指輪を

抜き取りぬ

小松原 和明



昼寝の児

手より落せる

宝物

原澤 松乃



富士の裾

学生昼寝

大の字に

小林 庸一



所帯持ち

貫禄の出し

帰省の不

山崎 實



山男

木の根枕の

大昼寝

原 八重子

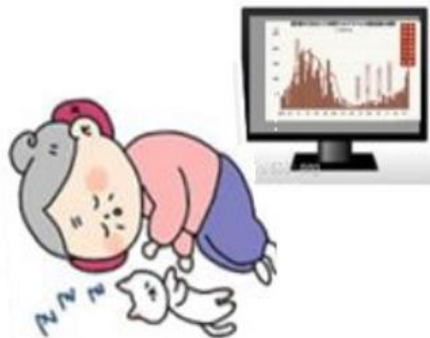


感染グラフ

映すテレビや

昼寝覚

山口 信雄



老夫婦

日課となりぬ

昼寝かな

斎藤 正治



サングラス

掛けて女房

接種場へ

齊藤 正浩



梅雨冷や
じゅわじゅわとくす
身の軋み

清水 桂子



俳句誌の
ページ捲かれて
るる昼寝

渡辺 節子



梅雨晴れや

卒寿の吾が身

いとほしむ

山崎 實



掻い堀で
鯰を二匹
夏の沼

小林 庸一



垣根越し

思はぬ恵み

茗荷の子

山口 信雄



ワクチン済む

虹に感謝や
心晴れ

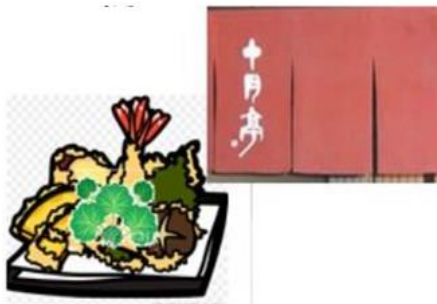
原 八重子



料理屋の

乙な天ぷら
雪の下

小松原 和明



窓開けて

手を振る童
梅雨晴れ間

原澤 松乃



十秒の

かくも長きか
炎天下

小松原 和明



雪の下

怖怖揚げて
こわごわ喰ふ

渡辺 節子



迎火や

今年も無事の
灯なり

岩澤 守晃



広大な

大地に向日葵

揃い踏み

岩澤 守晃



清蔭に

来会ふ子弟や

合歡の花

清水 桂子



草いきれ

我行く道を

変へにけり

小林 庸一



占って

向日葵の人と

言はれけり

渡辺 節子



遅しく

咲くひまはりに

励まされ

原澤 松乃



表彰台

金と向日葵

胸に抱き

原 八重子



街角の
秋めく風に

酔ひにけり

渡辺 節子



大向日葵

空き家に一本

仁王立ち

斎藤 正浩



向日葵の

番長気取る

昼下がり

山口 信雄



巡りくる

季節のバトン

秋の手に

岩澤 守晃



秋めいて

厨の妻は

澆瀨と

斎藤 正浩



「生きてるか」が

合言葉なり

老いの秋

山口 信雄



小夜更けて

雨戸をノック

秋の風

小松原和明

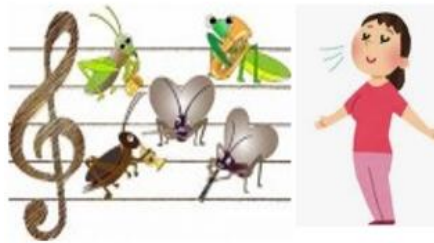


虫時雨

聞きて忘れし

疲れかな

原澤 松乃



見沼田の

一望眩し

稲穂かな

原 八重子



「転ぶなよ」

愛の眼差し

秋めきぬ

山崎 實

転ぶなよ



秋めくや

織部小鉢の

出番くる

清水 桂子



秋めけり

米価下がりに

農家泣く

小林 庸一

